

「共に生きる社会」の実現をめざして

2020

International University of Health and Welfare



新春のごあいさつ

高木邦格理事長、大友邦学長、三浦総一郎大学院長、各病院長・施設長

第10回高校生作文コンテスト

国際医療福祉大学成田病院病院長インタビュー

海外保健福祉事情

高邦会グル 国際医療福祉大学·

プ理事長 高木 邦格



2020年 -を迎え、皆様にご挨拶を申

学部の本院となる国際医療福祉大学成田 医療学部放射線・情報科学科が新設され、 スに福岡薬学部、成田キャンパスに成田保健 病院が4月に開院するという大きな飛躍の 初の医療福祉の総合大学として開学 これで11学部 26学科体制になります ら今年、25周年の節目を迎えるとともに、医 国際医療福祉大学は1 。同時に4月から、大川キャンパ 葉県成田市、 995年に日本 東京都

は医療福祉分野のほぼすべてをカバ ました。地域医療への貢献はもちろん、グロー 岡市と大川市の6キャンパスで、学びの領域 港区赤坂、神奈川県小田原市、 人の卒業生を輩出してき 、福岡県の福

> 高い評価をいただいており バルに活躍している医療人も多く、国内外で

畑ケ田地区に開設します。これで附属病院 成田病院は成田国際空港に近い、成田市

いただける環境を整えています おり、受診者の方にもリラックスしてお過ごし 宿泊施設やプ 学センターに併設する健康増進センターには の予防医学センタ 最新の高度医療機器を備えた日本最大級 はじめ、先進医療を提供する各種センタ・ な病院となります。遺伝子診断センター ベトナム・ホーチミンに開設したドック健診 42病床と本学グループ内で最も大規模 、延床面積10万55 ル、ジム、サウナなどを備えて -を開設します。予防医 3 平 6 5 平

文化や食事の多様性、多言語にも対応し、宗 る予定です。幅広い疾患に対応することで、 までにない診療科やセンター 守る感染症国際研究センターといった、これ 医療機関と繋ぐ国際遠隔診断センター センター(HECI)をはじめとする海外の するような国際的なハブ病院をめざします 者様をお迎えする体制を整え、アジアを代表 教関連スペースも備えて、あらゆる国から患 地域医療に貢献していきますが、さまざまな 国際空港至近の病原体対策として水際を 4月に医療関係者や地元のみなさま、海 などを立ち上げ

開院記念式典と内覧会を開催いたします 外からの政府や大学関係者をお迎えして

ャンパスは現在、3学部8学科を擁し、毎年 900人近い学生が入学し、在学生は約 本校として25年間、歩んできた大田原キ 00人にのぼるまでに発展

や記念式典を大田原キャンパスなどで開催10月に大学創立25周年を記念したイベント

祉の充実に大きな役割を果たしてきました。 際医療福祉大学塩谷病院、介護老人保健施 ニックなど6つの医療福祉施設を設置すると ジア有数の言語聴覚センター 設マロニエ苑などがあり、 ともに、近隣には国際医療福祉大学病院 さらに、昨年、「西那須野地区約100億 大田原キャンパス内に障害者支援施設やア 、栃木県北の医療福 を持つ大学クリ

が営業開始し、一般の方の宿泊のほか、医学部 てまいります。隣接地には那須マロニエホテル 別養護老人ホーム・栃の実荘が新築増床リニュ定こども園・西那須野キッズハウスが開園、特 指定病院への条件の1つである400床以上 で、病床数が 生の臨床実習の際にも使用予定です をクリアしました。敷地内では幼保連携型認 円プロジェクト」が完成しました。プロジェク ーアルオープンし、地域医療・福祉ニーズに応え 2016年に開設した成田キャンパスの 、病床数が408床に増え、国の特定機能心は、国際医療福祉大学病院の新棟建設

現場に羽ばたいてまいります には300人あまりの卒業生が医療福祉の 学検査学科は本年に完成年度を迎え、法学科、作業療法学科、言語聴覚学科 成田看護学部、成田保健医療学部の理学療 ,作業療法学科、言語聴覚学科、

をめざします。大田原での実績を元に、 知識と技術を有する診療放射線技師の育成像診断装置や放射線治療装置を扱う高度な 年の医学・医療の目覚ましい進歩に対応し、画 千葉県で唯一の診療放射線技師養成校で、近 ャンパスで診療放射線技師の養成を行い 新設の成田病院と連携し、診療放射線技 4月に新たに加わる放射線・情報科学

します。心理カウンセラーや言語聴覚士を置豊かな人間性をもった子どもの育成をめざ 月にⅡ期棟がオープンし、赤坂山王保育園3年目となる東京赤坂キャンパスでは4 師が活躍できる取り組みを進めていきます せた相談体制を整備します 保護者や地域社会と連携する中で、健康で 歳児、121人のお子さんを保育します。 から近い都心の保育園で、3年後には0 は、赤坂や永田町のビジネス街や高級住宅地 称)を開設する予定です。赤坂山王保育園 と赤坂山王メディカルセンター き、お子さんの体調管理や発達段階に合わ (いず れも仮

めグループの関連施設と密に連携し、質の高正確な健康チェックを行い、山王病院をはじ い人間ドックを提供いたします 適切なアドバイスと高度な医療機器による 経験豊かな専門医が総合的に診断・判定し、 併設される赤坂山王メディカルセンタ 山王病院をはじ

なります。 卒業生を輩出する2026年までには、 い薬剤師を育成します。これにより、最初 ムを踏まえ、質の高い薬学教育で、臨床に強 原キャンパス薬学部の教育理念やカリ 川キャンパスの学生数が17 私立大学全国: 九州地区では、4月に福岡薬学部がスタ ・垄剤師国家試験合格率3年連続

教職員一丸となって取り組んでまいります。グループ体制をさらに拡充してまいります。グループ でありますよう祈念し、私のご挨拶といたし 新しい1年が皆様方にとって充実したよい年 ので、よろしくお願い申し を機に教育・研究・医療福祉の分野における 本年は、開学25周年および成田病院開院 ます。最後に、

国際医療福祉大学学長 大友



020年の新春を迎え、皆様に一言ご

と、質の高い教育を実践し、国家試験合格率 大学院を設置、第一線で活躍する教員のも 本年、開学25周年を迎えます 0%を実現しております 国トップクラスを維持し、毎年、就職 キャンパスに 11学部 26学科 国際医療福

近い立地を生かし、国際性に富んだカリキュの卒業生を送り出します。成田国際空港に 部と成田保健医療学部は今年3月、初めて設した成田キャンパスで開学した成田看護学 の杜駅前に、本学5番目のキャンパスとして開16年4月、千葉県成田市の京成本線公津 職をめざして育成してきました。開設1年 世界中のどこでも活躍できる医療福祉専門 ラムを通して、国内の地域医療はもとより、 4月に同じ成田キャンパスでスタ

す。4月に開院する国際医療福祉大学成施設で、診療参加型の臨床実習が始まりま の附属病院をはじめとした医療福祉関連 活躍できる医師の育成をめざして、国際性 界最大級となる成田シミュレー なる予定です 田病院は、来年度からの臨床実習の中心と を重視した革新的な医学教育を行ってい ながら、多くの授業を英語で実施、国内外で を整備、1学年20 医学部においては、成田キャンパス内に世 本年から1期生が4年次に入り、本学 人の留学生を受け入れ ションセンター

つ福岡薬学部を新設します 情報科学科、大日 成田保健医療学部に今年 ニキャンパスには薬学科を 月、放射線·

療放射線技師の育成をめざします 装置を扱う高度な知識と技術を有する診 医療に対応し、画像診断装置や放射線治療 生を迎えます。進歩が目覚ましい近年の医学・ 成田の放射線・情報科学科は50人の1

育成します。 た質の高い薬学教育で、臨床に強い薬剤師を ス薬学部の教育理念やカリ の入学を予定しております。大田原キャンパ 福岡薬学部薬学科は6年制で、120 キュラムを踏襲

地域での初めての薬学部開設で、その状況をの病院・薬局では人材が不足しています。この はすでに相互連携協定を結んでおり、地域の 改善することが期待されています。大川市と 市圏に集中しており 福岡県内では薬剤師が福岡市などの大都 に貢献していきます 大川市など県南地区

新しい年も、教職員一同、精いっぱい努力 なお一層の学修環境の充実に取り組み、 一層のご支援、ご鞭撻をよろし

国際医療福祉大学大学院長 三浦 総一郎



新年を迎え、新春のご挨拶を申

♦

が一体となって保健医療福祉の分野で指導スを含む全国7つのキャンパスで学部・大学院 職の育成に励んでおります。 学院として多彩な学びの場を提供しており を有する我が国最大規模の医療系総合大 科、8専攻、48分野に90以上の領域やコース 的役割を果たすことができる高度医療専門 に開設した医学研究科を加え、現在 国際医療福祉大学 一昨年オープンした東京赤坂キャンパ 大学院は、一 昨年新た **4**研究

実習環境と臨床現場へのフィ 門家が集う豊かな学際性」「充実した臨床きながら学ぶ環境の提供」「多彩な分野の専 も昨年3月で通算3280人を突破しま した。これらは本学大学院が実現している「働 1000人規模に拡大予定であり、 現在、大学院の在学生は90

今後も医療分野においてニーズの高い新規

学院も教育・研究環境を一層充実させ、日本 学ぶ予防医学分野や医療福祉学研究科に医学研究科公衆衛生学専攻に検診医療を としてしつかりとした役割を果たせるように 成田病院の開設も予定されておりますが、大 は大学開学25周年という節目の年を迎え、 国際看護学領域などを開設予定です。 力を尽くす所存であります。 開拓を企画しており、本年 する国際的な「知の医療交流拠点」

あるいは60~80代での更なる学び直しを行は困難となっています。30~50代で学び直し、 取り巻くライフスタイルは急激に変化をきた 同時に高度先端技術の発達とともに我々を うすぐ到来するでしょう。 よいよ訪れようとしています。 なうことが人生で当たり前になる時代がも しており、20代での学びで生涯を過ごすこと 100歳を超える方は大勢増えていますが、 令和の我が国では人生100 現在でも 年時代がい

開花させる大学院をめざしてゆかなければ の質の変化と向上の必要性を強く認識し 力に寄り添い、個人のライフワ にあたり、我々は個々の学習者のニーズと能 きないような創造性に満ちた時代を迎える のではないかと思います。このような想像もで 院で学ぶことの大切さがクローズアップされる 完できな・・・)・・一要性が益々認識されるようになり、特に大学要性が益々認識されるようになり、特に大学をといる。 教育の提供を目標として努力 なりません。そのためにも我々は大学院教育 クを誘導

どうぞ本年も皆様のご指導ご協力を何卒

の医療体制問題を解決す 保険制度である。そこで、私は、

の問題点を改善し、誰で、分の研究を通じて、中国

けられる医療の実現に貢献す

現在、私は

その笑顔を守っているのは、全国の医

した日本人患者達の笑顔だ。

、誰でも平等に使える日本の健康レベルの公平性と統一性を前提に

害をより詳細こす刑がもたらす医療資源の変化に伴う利の661都市を対象とし、経済発展の661を持ている。「私のの661をはない。」、「おいった」、「おいった」、「おいった」、「おいった」、「おいった」

博士課程に進学し、今後、中国全土る。そのために、私は修士課程修了後

本医科大学付属病院で研修した時

れたのは、201

-6年に日

に過ぎず

し、これは中

より詳細な研究を行う

必要があ

するに

「ピックス

第10回高校生作文コンテ最優秀賞に山本彩佳さん 回高校生作文コンテスト

が寄せられた。 京赤坂キャンパスで開かれた。「医療と福祉 「多様性を認め合う社会をめざして」の3 わたしの体験」「未来のための今を生きる」 高等学校長協会)の表彰式が11月 作文コンテスト(主催・国際医療福祉10回「共に生きる社会」めざして「高 毎日 マに、過去最多の 後援·文部科学省、 30日、東 文国

> (本学保健医療学部言語聴覚学科3年)と、 さん、第7回優秀賞受賞者の高沼千晶さん 祉学部長、第5回佳作受賞者の稲葉莉帆

の元村有希子毎日新聞社

作文コンテストをき

人賞と学校賞の受をはじめとする個 りのままの自分で」 美林高等学校1 山本彩佳さんの「あ 天林高等学校1年、はれた東京都・桜へ、最優秀賞に選 厳正な審査の 高校生 作文コンテスト表彰式

聞社の冠木雅夫客員編集委員が「佐が贈られた。審査委員を代表して、気長から表彰状など こしょう 尊重とい 元気をもらえた」と講評した。文章を読んで改めて考え、生きる勇気や 生きる姿勢や『共に生きる』ことが、周囲共通しているのは、皆さん自身の前向きに 人々の う基礎の一 優しさ、思いやり、多様な個性の 上に成り立っていること 作品に

筋肉が少ない難病のため、杖や車椅子を使っ朗読した。最優秀賞の山本さんの作品は、 入ると周囲の仲間にすんなり受け入れら いることが大きな壁だった自分が、中学に 表彰式に続き、個人賞受賞者らが作品を

誰でも平等に受けられる医療を実現したい

中国出身ア

国(アイ

ゴク) さん

医療経営管理分野

医療福祉経営専攻

15万3216床から24万1422床を例にとると、過去10年間で、病床数は

る。具体的に、私の故郷である黒龍江省

●表彰式に出席された受賞者の皆さん 論説委員兼編集委員によるパネルディスカッ 来などについて活発な議論が交わされた. っかけに~」が行われ、医療福祉の現状と将 ション「私と医療福祉~

高等学校1年、中西優奈さん佳菜さん/茨城県・江戸川学園取手愛知県立安城高等学校3年、竹尾和

校2年、北原匠さん岩谷歩実さん/広島県 茨城県・江戸川学園取手高等学校/ 、山梨県・ 山梨英和

彩佳さん 東京都・桜美林高等学校1年、

東京都・白百合学園高等学校2年、

県・大分東明高等学校福岡県・久留米信愛高等学校/大分高等学校/静岡県立韮山高等学校/ 子学院高等学校/ 東京都立国際高等学校/東京都・

行事予定のお知らせ

●高橋泰教授と中国・黄山の学会にて

留学生が見た 母国と日本の保健福祉事情

中国の医療の変化を自分の目で見

「中国の医療は、猛スピー

-ドで飛

院に5年間勤務した。ある意味で、大卒業後に祖父と母が勤めていた病

住んでいる。私はその環境で育ち、

医

に医療の質の低下

病床数の過発展は、逆

級病院に勤務.

し、病院の職員団地に

私の家族は祖父母から国家三甲

にずっと悩んでいた。私の悩みを解見の繁栄、内部の苦情」という問題

実際の状況とは異なっている。私は「外 躍的に向上している」と言われるが

【令和元年度 学位記授与式】

■学部/大学院 学位記授与式 ・大田原キャンパス(学部/大学院)

日時: 令和2年3月11日(水) 10:20~ 会場:那須アスリーナ(体育館)1階

・成田キャンパス(学部/大学院)

日時: 令和2年3月12日(木)10:20~ 会場:成田キャンパス体育館

・小田原キャンパス(学部/大学院)

日時: 令和2年3月13日(金) 10:20~ 会場:本校舎6階講堂・ラウンジ

・福岡キャンパス・大川キャンパス(学部/大学院) 日時:令和2年3月9日(月) 13:00~ 会場:福岡国際医療福祉大学 体育館

■大学院 学位記伝達式

東京赤坂キャンパス

日時: 令和2年3月14日(土) 16:00~ 会場: 東京赤坂キャンパス3階 302/303教室

■卒業式

日時: 令和2年3月4日(水) 10:00~ 会場: 塩谷看護専門学校 講堂

【令和2年度 入学式】

■学部/大学院 入学式 ・大田原キャンパス(学部/大学院)

目されるようにな医療の質が注

意識が高まり、中国人の健康

20世紀以降

看護師数は6万26

人から9万

人から8万8362人に(1・2倍)、 に(1・6倍)、医師数は7万1769

医療資源の配置、

する医師と看護師の対応時間が短く増加率に追いつかず、個々の患者に対師数と看護師数の増加率は病床数の資源の全てが増加しているが、実際、医420人に(1・4倍)増加した。医療

日時: 令和2年4月3日(金)10:20~ 会場:那須アスリーナ(体育館)1階

・成田キャンパス(学部/大学院) 日時: 令和2年4月5日(日)10:20~

会場:国際医療福祉大学成田病院 成田国際ホール(予定)

・東京赤坂キャンパス(学部/大学院) 日時:令和2年4月2日(木) 15:00~ 会場:東京赤坂キャンパス 講堂

・小田原キャンパス(学部/大学院) 日時: 令和2年4月4日(土) 10:20~

・福岡キャンパス・大川キャンパス(学部/大学院) 日時:令和2年4月7日(火)11:00~ 会場:大川キャンパス 講堂

■入学式

・塩谷看護専門学校 日時:令和2年4月7日(火)10:00~

会場:城内校舎 体育館

会場: 塩谷看護専門学校 講堂

vol.120 January 2020 CONTENTS International University of Health and Welfare

山本

23 22-16 ダンスサー オーストラリア韓国/カンボジア/シンガポール/ベトナム/マレーシア/モンゴル/ラオス/ キャンパス プラスー

ークル

CRACKUP(東京赤坂キャンパス)

15-14

山王病院・山王メディカルセンター国際医療福祉大学病院/三田病院/塩谷病院/熱海病院/市川病院)

・盈進高等学

国際医療福祉リハビリテーションセンター/新宿けやき園/山王病院/高木病院国際医療福祉大学病院/塩谷病院/三田病院/市川病院/熱海病院/

|| 理学療法学科卒業研究発表会を開催/2019年度「地域公開講座」

13-12 11 11

福 岡 第1回地域公開講座/看護職者育成に関する意見交換会

10

わらツーデーマーチ」に参加、快晴の下、運動会に300人/市民公開講座を開催/「第2回城下町おだ

東京赤坂 小田原

『がんプロ』一般市民公開講座開催で即位国民祭典に参加/大学院オープンキャンパスに190

人が参加

⊞

座に104人が参加交流会を実施/令和元年度成田市消防団女性部辞令交付式/第3回公開講解剖体慰霊祭・ご遺骨返還式/成田国際高校生と本学留学生別科留学生の

大田原

/地域の方と国際交流パーティー/第16回学生&企業研究発表会大田原マラソンを応援/台風191

九発表会 看護学科、薬学科の3グループが受賞台風19号被災地でのべ8人がボランティア活動

5-4

第11回留学生が見た 母国と第10回高校生作文コンテスト

母国と日本の保健福祉事情

国際医療福祉大学成田病院

宮崎勝病院長インタビュー

行事予定のお知らせ

と、感謝と前向きな気持ちを表している。 の中で私ができることを見つけていきたい」

表彰式に先立ち、

中秀一医療福

3-2

り越えることができた」「車椅子に乗っ れたことを紹介。「友人のおかげで壁を乗

人の心の優しさに触れられた」と述べ、

「好意や励ましに少しでも報いるため、

新春のごあい

高木邦格理事長/大友邦学長/三浦総一郎大学院長

原市の事情で20年から当面の間、大会自体 ン大会の盛り上げに一役買ってきたが、大田

止されることになった。また、本学科では、

一祭りにも1年生全員が与一踊

りに連を組んで参加していたが、こちらも休

キャンパスレポ

大田原

トピックス

宮崎 インタビュー 国際医療福祉大学成田病院病院長(予定者) 勝 副学長

学成田病院は4月1日、いよいよオープ医学部の本院となる国際医療福祉大 ンする。宮崎勝病院長(予定者)にその 特長などについて聞いた。

ざしていますね 40診療科がある国際的ハブ病院を

できる施設を用意します から見て妥当性があり、Aランクの治療がければなりません。海外の標準的な治療 受けられる体制が必要です。ソフト面、ハらは、海外から直接来て医療やドックを 住している外国人が対象で の日本の病院は日本人や日本に長期在 それぞれに開きがあり、それに対応しな 食事、海外での治療経験など、患者さん 来ても対応できるという意味です。従来 ントです。どこの国からどんな患者さんが ド面が大切で、特にソフト面では言語や 国際標準の病院というのが一つのポイ した。これか

いくつの言語に対応します

病院との連携で開設しました。そのため初のドック健診センターを国立チョーライナムとは、2018年にホーチミン市に 言語を中心にスター 英語、中国語、ベトナム語、日本語の4 します。中でもベト

る

入院患者さん

携し、「これは日本で治療した方が交流もあり、現地の患者さん、医師 という方がいれば、受け 入れていきます

■外国人が受診しやすいですね

設けて医療通国際ラウンジを ブを用意します 含めたメディカル・ は20パプ また、健診棟に 訳を配置 人間ドックにしろ、 入院にしろ、 ーネスクラ ルを



を促す医療です ョン介入で早期の回復 。スタッフが充実し高度

さん、医師と連

ですが、最近、薬剤治療の中に免疫療法 ん。 が入ってきま い」という依頼が来るでしょう 設からも「それを使って測定してくださ ム解析が正確にできるので、国内の他の施 トップレベルの病院しか利用できていませ れが稼働します。非常に早く大量のゲノ ありますが、遺伝子診断センターでは、こ がん治療は手術、薬剤、放射線がメイン

5

スで、濃厚で高品質のリハビリを提供し な設備がそろったリハビリ室とフィット

最新の医療機器を 、MRIはもとより、強度変調放射

腹腔鏡や胸腔鏡ではなく、ロボットに移行などでは進んでいます。これからは普通の を受けている領域は限られますが、米国ロボット手術ですね。日本では保険適用上がります。あとは、ダ・ヴィンチを含めた 2室用意し、手術の質と安全性が格段に ピーを設置します。ハイブリッド手 く集中して高度な治療ができるトモセラ 線治療 (IMRT)の専用機で照射野が狭 していくことが予想されます 術室は

割を持ちますか

されていない遺伝子解析機種が医学部に

ゲノム解析していくと新しい医療技術の が、疾患によっては薬が限られます。ただ、 厚生労働省も進めようとしています した。ゲノム診断は欧米でも 研究面でも

国際遠隔診断センタ

先進医療を担うセンター はど んな役

ノバセクという、大学ではほとんど導入

必須なものと考えています。開発、創薬には役立ちます

ベトナムなど海外の医療機関との連携で

に診断能力が上がってきます 病理診断です。5Gなどが出てくるとさら 最も有用なのは放射線画像診断、皮膚科と ります。ロボット手 携でこれまでにない充実したセンタ でも利用できます。 画像を診断して返します。遠隔診断は国 式になっていけば、安全にリモ 入れてやっています。 わち遠隔治療もできるということを視野に 術が普及して安定した術 。グループの各病院との連 。とりあえずは遠隔診断 手術、すな

■感染症国際研究センターの機能は 成田国際空港の近くに設置しているの

倒れた患者さんをすぐ引き取って感染 で、海外から入ってくる可能性がある色々 って大切な場所です 症のチェックを行えます。日本の国内にと な病原菌に対し、最初に防御する場所と しての能力を持っています。また、空港で

■病院の体制について 教えてください

260人、看護師 42床になり 開院当初は322床、3 、その時点での医師 年後には

域医療に貢献し科も充実して地 最大200人対人間ドックは1日 月にオープンする 応できます。救急 も充実して地 60人です。5

互信用金庫理事長賞をそれぞれ受賞した伝子に負の刻印を残す」のテーマで鹿沼相グループが「妊娠期のストレス曝露は子の遺 ●特別室(和室)

(医療福祉・マネジメント学科長 げるために参加したいと考えている。 止になる。いつか再開されたら地域を盛り上 小林雅彦)

第120回

川原

キャンパスレポ

による被災地支援ボランティア活動を行った。 計4回にわたって学生・教職員有志(延べ86人) 害があった茨城県大子町と栃木県栃木市で、 大田原キャンパスでは、台風 19号で大きな被

11 月 23 日、

「第32回大田原マラソン」のランナ

らを大学前で応援した。

大田原マラソンを応援

の方々とのコミュニケー ただ活動するのではなく、被災した当事者 し作業や片づけ、掃除の手伝いなどだったが、活動は被災した家屋や工場などでの泥出 しなが

で、今年で6回目となる。毎年、大学に隣接

この活動は2014年から行っているもの

となっている。その アの不足が課題 地ではボランテ 広範囲に及び、現 北と被災地域が 関東甲信越·東 今回の災害は

生

本学

前は、その手前で長い上地点となる大学の南門

り坂が続くこともあり、

は取りやめ、学生のみでの応援となった

ったため、体調を考慮して施設利用者の参加

緒に応援してきたが、今年は朝から雨が降 る老人施設や障害者施設の利用者の方と

本陸連公認のフルマラソ

大田原マラソンは日

ンで、スター

トから35**

な役割を果たすことができた ランティアバス」を運行 中、20人近いボラン し、その活動は、大き 運べる | ボ

だったため、授業のある学生のボランティア活一方で今回の災害は大学の授業期間中 があったことも事実だ 動をどのように支援するかという点で、課題

りがとう」と感謝を口にしたり、

ハイタッチを

この応援は毎年ランナ

ーに感謝され、マラソ

て大きな励みになるようで、中には「応援あ

の応援は参加者にとっ

われている。そこで

-クに達する

●大学南門前での応援

ていきたい」といった感想を多く残してくれがあれば、今後もボランティア活動に参加し 地の過酷な状況を目の当たりにし、「現地の た。学生たちの想いに応えるためにも、被災 状況が良く分かった。自分たちにできること 今回の活動に参加した学生の多くは被災

看護学科、薬学科の3グループが受賞第16回学生&企業研究発表会

(IUHWボランティアセンター長

大石剛史)

(総務課

鶴見龍太郎)

ア活動の支援体制を、今後模索していきたい 地のニーズに寄り添うことのできるボランティ

のべ8人がボランティア活動台風19号被災地で

研究成果を発表した 献」「地域人材育成」「環境エネルギー 木県内の大学などが参加 都宮市の作新学院大学で開催された。 づくり」「医学・医療・福祉」の5分野で、 第16回学生&企業研究発表会(大学コ シアムとちぎ主催)が11月30日 し、「地域社会貢 栃

は薬学科から2グル ろ他8人、菊池祥 大輝他8人)が参加 野には看護学科から 他 5人、長嶋優他 4人) ら他5人、本柳ちひ 学科の4グル 医療・福祉」分野に薬 1グループ (同・芳賀 「地域人材育成」分 人、根津実歩他6人) 「ものづくり」分野に 代表者・阪本さく からは、「医学・ -島綾他5 ープ(学 裕

●表彰された学生及び指導教員ら

探索」のテーマであしぎん賞を、本柳さんの性精神疾患に関与する新規脳内分子の聞社賞を、阪本さんのグループが「ストレス **芳賀さんのグループが「幼児にからだのし** くみを教える健康教育」のテーマで朝日新 最優秀選考会での発表はならなかったが

料理を頬張りながら、

地域の方と国際交流パーティー

塩原市でアジア、アフリカ、太平洋諸国の農 原市の永山林副市長ら来賓 15 人と、那須いる。今年度も留学生約40人に加え、大田 動を振り返り来年度のさらなる発展へとつ員が一同に会し親睦を深めるとともに、活 地域の方々を招き、国際交流委員、指導教 村指導者養成をしているアジア学院から12 なげるため、2007年以降毎年開催して 20日、那須アスリーナ2階で盛本学主催の国際交流親善パ 人の学生が参加した。 本学の国際交流活動にご支援いただいた **ノ2階で盛大に開かれた。**

植竹福二大田原市 教育長とキヤノンメデ



●ミャンマーダンスを踊る留学生

との交流を深める有意義な時間となった。

(総務課

木村裕幸

大友邦学長をはじめ、教職員や地域の方

も大きな特

キャン

ボ

解剖体慰霊祭・ご遺骨返還式

霊祭並びにご遺骨返還式』を スで初めての 『解剖体慰 11 月 2



べた。その後、参列者全員が一人ひとり年生が学生代表として感謝のことばを述 祭壇に献花した。 が御礼のことばを述 ベ

会となっ 学部長からご遺族にご遺骨を返還した。 引き続きご遺骨返還式を行い、河上医 解剖学の小阪淳教授の挨拶で閉

いひとときとなった。高校生にとっても留学

生にと

(国際交流センタ

短い時間だったが、

(医学科准教授 林省吾)

交流会を実施本学留学生別科留学生の成田国際高校生と

成田市消防団女性部辞令交付式令和元年度

学生別科の学生 成田国際高校と本学の高大連携協定に 国際高校の

交付式』を10月25日、

成田キャンパスで

『令和元年度成田市消防団女性部辞令

髙梨愛理さん、

チョ

ハヨ

ュニンさん、

ユベリウム・ランダさ

清水友美さん

参加

元気

0)

会話

14 ヒ 日 ケ

ĺ

第3回公開講座に104人が

行った。今年度は医学科1年のカナヤ

ている。がら交流を行っ 勝寺を見学した例年、成田山町 11月23日に行っ 1るもので、 毎年実施し っな新

てた。



んの7人が

日絵里奈さ

平山絵里奈さ、

成田市の

小

或田市消防団女性部

辞令交付式

加した。

●ユニフォームに身を包んだ新メンバー

が、会話力をキ

●20分毎にグループを変えて交流を進めた

防本部の大野 長、成田市消 の村島義則団

成田市消防団泉一成市長、 団した。

が参列し、本学勝也消防長ら と合わせて11人となり、 合わせて11人となり、今後、地元の8人が出席した。昨年度入団した4 本学からは河上裕医学部長以

●学生による献花の様子

いの趣味や好き校の紹介、お豆 なアニメの話など、いの趣味や好き

校の紹介、お互よる成田国際高





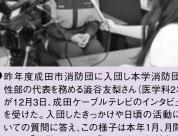


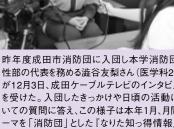
姿が見られた。英語や日本語で

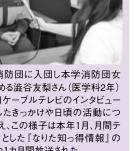
る

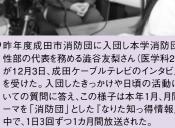
や日本語で

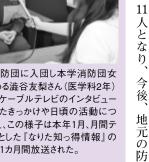


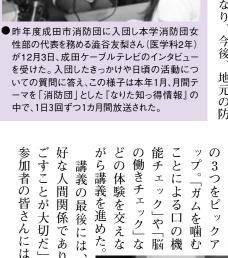


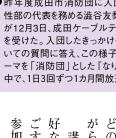
















良

笑顔で円満に過 ●発音チェックをする参加者









と、大石斐子助教 子教授の挨拶のあ 学科長の倉智雅 言語聴覚学科によ る公開講座を実施 人が参 ●講師を務めた大石斐子助教

(総務 子安一誠)

一般市民公開講座開催 **「がんプロ」**

ョナル)』養成プラン」に採択された「未来 する『がん専門医療人材(がんプロフェッシ 文部科学省の「多様な新ニーズに対応

学大学院医学 今回の一般市 民公開 前

車・神輿ととともに鍛治橋通りを渡御のメンバーが赤坂氷川山車巡行に参加した。第1部の奉祝まつりで、約30基の山た。第1部の奉祝まつりで、約切りで、約1月9日に皇居前広場から皇居外11月9日に皇居前広場から皇居外

限らず様々な

な活動を積極的に行ってい

(心理学科2年

加者からは「大学解消していた。参

うに、これからも赤坂氷川神社の行事に「赤坂の街に貢献する」ことができるよ

る疑問や不安を聞き、進学に対す

赤坂同好会の活動理念の1つである

大学院オープ

プンキャンパスに

してさらに勉強しわかり、今後入学院のことが詳しく

●分野別進学相談会

ていきたいと思った」

90人が参加

ご即位国民祭典に参加

キャンパスレポー

に伝承していくことが私たち赤坂同好うな歴史あるものを守り、新たな世代

の特長やカリキュラ際に指導に当たって

導に当たって

いる教員が、それぞ

した分野・専攻ごとの進学相談会では、

実

明を行った。参加ムなどについて説

会の役割だ」と感じた。

「赤坂の街を愛する一員としてこのよ参加できたことは感慨深いものがあった。

に皇居に向かい、ご即位を奉祝する場に

入試の説明を行った。

大学院オリ

、エンテー

ションに続いて実施



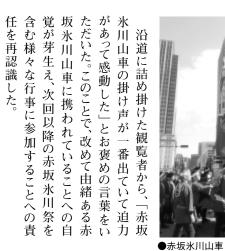
目の大学院オープンキャンパスを開催した。の各キャンパスで11月24日、今年度2回東京赤坂、大田原、成田、小田原、福岡

らしくありがたいと思った」などの感想を働きながらでも学べる環境がとても素晴「e-learningや双方向の遠隔授業により

●講座の様子

活発に意見交換した。講演し、講演後には、

を考える」をテーマに



学院オリエンテ 部、第2部あわ せて190人 を超える大学 を超える大学 が参加した。大

をふまえながら説明した。出願を控えた提出が必要になる研究計画書の作成方法のように研究を進めていくか、出願の際に

講演を行った。大学院に進学した際にど

参加者には有意義な時間になったようだ。

が、講演後は講演前に対し、10%以上、たところ、「開いてみたい」と答えた人の

も数

に、「自分や親の人生会議を開

また、参加された方々

か?」を、アンサ

ーパッドを活用して質問

今年度大学院で2回実施したオ

ャンパスに同時

から、他の4

丰

を務め、藤田烈講師、飯室聡講師による究支援センターの山崎力センター長が司会成のポイント」を同時開催。本学未来研また、当日は特別講演「研究計画書作

実施。東京赤坂キャンパス・

多目的ホ

ション」を

いただいた。

はじめに「大学院オリエンテ

きた赤坂氷川 で赤坂氷川山車が、令和の時代代から伝承され赤坂の街を見

長と学生生活、 続き、本学の特 に 長の挨拶に

●大学院オリエンテーション

を選んでい

ることを願って 人でも多くの方

生会議とは何か」「人生会議を開く

この結果から、参加された方々が、「人

を考えていただく上で、

齊藤未来)

計 約 5

人が参加。

キャンパスでは、昨年度を大きく上回る合

ションでは、三

東京赤坂

キャンパスレポ

有意義であったと 意義」 郎

(事務部

石倉伸

9 IUHW Public Relations Magazine 2020.1

ていく。(巻き) 白豆 に急手当指導や火災予防活動などを実践し

(総務

亩哲生)

災イベン

トや研修会などに参加して、

応

原

●小田原

第51回 キャンパスレポ キャンパスレポ

快晴の下、運動会に300

原保健医療学部長が挨拶し、準備体操上にのぼった。開会式では黒澤和生小田 をしてから競技を行った。 生と学科教員、職員を含め300人以 ウンドと体育館で開催した。参加者は学 快晴に恵まれた11月30 田原キャンパスの「第14 3日、城内校舎グラ第 14回運動会」を

て「バレーボー を実施、男女混合種目で「学科 一一の計 今回の競技種目は、男女別の種目とし 4種目を ル」「サッカー」 「ドッジボール」 - 別対抗リ

学年・学科ごとのチ 行委員が委員会等 きるように」と、 くの学生が参加で た。競技種目は、「多 ム戦形式で実施し 実



式を採用した。 利チームが勝ち進んでいくトーナメント形育館とを移動して試合を行っていき、勝行は、学生が種目ごとに、グラウンドと体

分かる令和時代の健康と健幸」をテーマに、の11月2日、小田原キャンパスでは「測って久しぶりの好天に恵まれた3連休初日

学生、教職員が一丸となって市民公開講

って決めた。

市民公開講座を開催

をいただくこともある。

運動会当

を掛けあい、全力で競技している様子が見 れた時間だったが 試合時間はそれぞれ ムの仲間同士で声 15 という限ら

定でお迎えする。血圧測定は全学科の学受付を済ませた来場者をまず血圧測

座を開催した。

いた。最後の学科別対抗リレーでは大変盛ても、応援の声が試合中絶えず飛び交って だけでなく、試合観戦をする学生におい 受けられた。また、競技に参加する学生 上がり、とても活気の ある運動会となっ

科2年生が総合優勝動会では、理学療法学 を収めた。

城内校舎の掃除や後ーを中心に積極的に って取り組んでいた。 主体性と責任感を持 学生が実行委員メンバ 閉会式終了 付けを始めるなど、 後には、

生生活にも繋がってい えた意識の共有が深ま かけに、学年・学科を越 今回の運動会をきっ 、今後の充実した学 している。



●閉会式後に揃って記念撮影

く、参加するだけでなく学生の対応につい

の言葉や「毎年楽しみしている」との感想ても気に掛けてくださり、さらにはお褒め

次の講座へ案内するは順調に測定が済み、

ヘルスケア〜健康記録は「これからの高齢者二准教授による講演 による節酒対策を例 看護学科の原田浩

多くやりたかった」という感想もありされる方や、「認知症のテストをもう小講演を目当てに参加 に~」と題して行った。

年齢測定」と「インボディ」 (体脂肪・骨筋 握力測定」などが人気だった。特は測定」「転倒リスク測定」「最大一 方も少なくない。そのためリピ 講座)は毎年の測定結果を記録している 量·BMIといった体の総合的測定をする 心の高い講演や講座内容だった。 他の講座では「重心動揺計でのふらつき 特に「血管 歩幅と が多

索し、ニーズにも応える市民公開講座の開 た。これからも広く関心のあるテーマを探かされていたことに対するお礼もいただい その他、以前アンケ もあり、真摯に受け止めて改善に努めたい きなかった」との、今後の課題となるご意見 「待ち時間が長く全部の講座を体験で トに書いた内容が活

(総務課 伊能理恵) て当日に臨んだ。その甲斐あって本番当日生が担当する講座で、事前に練習を重ね

ツーデーマーチ」に参加 「第21回城下町おだわら



催・小田原市)に理学療法学科の学生がボ

21回城下町おだわらツ

11月16、17両日開催されたイベント、

-チ」(主

ランティアとして参加し 本イベントは神奈

み」を満喫しながら 台に、「晩秋の西さが 原町の1市3町を舞 箱根町·真鶴町·湯河 川県西部の小田原市・ キングするプロ

関

グラムである。 ントに出展している キングの参加者やイ 学生たちはウォ

●ストレッチボランティア

緊張の中、普段経験することのできない良い 県西地区リハビリテ 体験になった。 に対して学生がストレッチをする機会も をしながら行った。また、現職の理学療法士 ストレッチを実施することもあり、情報共有 企業の方にストレッ ション協議会の

う機会は少ないこともあり、参加した方との 普段は臨床実習以外に地域の方と触れ合 級生は先輩に指導してもらいながら実施でき る良い機会となり、有益な2日間となった。 を想定して痛みや既往の有無などを聴取す たため、全学年にとって有意義な時間となった。 持って取り組んでいる様子が伺えた。また、下 今回の参加学生は4年生が多く ションを楽しんだ。また、臨床実習 、自信を

右田正澄

方法を提供できたのではないかと考える。

生活の中で自分のスト

・レスに対処できる

(看護学科教授

白石裕子)

第43回 第1回 地域公開講座 キャンパスレ

意見交換会看護職者育成に関する

福岡看護学部は11月22日、3回目

掲げて展開している。 その第2弾として、精神看護学と公衆衛生 も自分らしく暮らすために」というテーマを 看護の教員で「住み慣れた地域でいつまで 題した公開講座を開催している。19年 間の健康を科学する へ…看取りまで看護る世界へようこそ」と 福岡看護学部では、20 11月16日には精神看護学の教員2人が、 誕生から現在、未来 8年度から「人 一度は、

は現在世界中で多く用い法に基づくこの2つの方法 として有効」とされている。 スをマネジメントするスキル られており、「自分でストレ 習を行った。認知行動療マインドフルネスの講義・演 と題して認知再構成法と を当てる方法を学ぼう」 「ストレスに負けない考え方や

生活の中でのストレス場面を抽出 てとらえ、その合理性を検討したり、CDを の思考・気分・身体反応・行動をコラムを用 インドフルネスの体験をした。 その

簡単な講義の後、実際の

「心の力を育てよう…そう思います」「マイ 地域の方、教員、学生など63人が参加し、

師の人材確保と定着化に 看護教育の問題点や看護 院の担当者に参加いただき、 岡山王病院、福岡中央病

体や医療機関での実態を交えて議論した。 取り組みの工夫・対策等について、各地方自治 いる中で、教育や臨床の現場における問題や た。職に対する学生の価値観が変わってきて みや課題について意見交換 関するさまざまな取り組 特に今回議論となったの 「看護職としての働き方・意識改革」だっ

いきたい。(一字条果)とも月食した向けた課題や取り組みについても議論して にも焦点を当て、外国人看護師の人材確保 る「国際性を目指した大学」として留学 今後は本学の3つの基本理念のひとつであ

しました」などの感想が寄せられ、スは1日5分習慣としてできそ

第57回 キャンパスレ ポ

卒業研究発表会を開催理学療法学科

優秀賞、優秀賞の内容は次の通り。 題賞、奨励賞を決定した。入賞した演題と最 療法学科の3年生と4年生が、最もよかった 開き、10のゼミから22演題を発表した。理学 と思う演題に投票し、最優秀演題賞、優秀演 (第12期生)の卒業研究発表会を10月12日に 福岡保健医療学部理学療法学科

るバイタルサインとパフォーマンスの関係』 **●最優秀演題賞『ウインドミル投法におけ**

岡市民病院、高木病院、福

-、福岡県看護協会、福

岡市早良区保健福祉セン

て、2017年度から開催している。

福岡県保健医療介護部医療指導課、

材の確保と定着に貢献することを目的とし に関する情報の共有化を図り、看護職者人 た。福岡県内における看護職者の人材育成 護職者育成に関する意見交換会を開催し

与えるため、高温環境下でのスポーツは至適温度た。体温調節は運動パフォーマンスに大きな影響を る球速と深部体温、心拍数、疲労度の変化を調査 で行うことが重要であることが明らかになった。 インドミル投法」での120球の連続投球におけ ●優秀演題賞『全身性関節運動過多を有 く、球数とともに心拍数とボルグスケールが増加し した。結果では深部体温と球速に大きな変化はな ルの投手が腕を回転させて投げる「ウ

健常大学生と比較し、全身性関節運動過多でする医療系大学生の身体的特徴』

の腰痛および立位姿勢調節機能における吸気血流量の比較』『非特異的腰痛のある大学生 動錯覚およびミラーセラピー課題実践時の脳●奨励賞(2演題)『タブレットを使用した運 多は有意に女性が多いため、四肢骨格筋量や腹部可動性の増加が確認された。全身性関節運動過 筋量の有意な低下と関係していることが示された。 は四肢骨格筋量、腹部筋量の有意な低下 -と腰椎

活かし、研究を継続してほしいと願っている。している。この卒業研究を通して学んだことをことは臨床に出てからの大きな糧になると確信 、一端とはいえ研究手法について学

筋トレーニングと深呼吸運動の及ぼす効果』

(理学療法学科講師 池田拓郎

2019年度「地域公開講座」

でも健康でいるために~」と題して講演した。 授が「高齢者の健康づくりのエッセンスト に開き、理学療法学科学科長の森田正治教 年度の地域公開講座を11

を延ばせるかについて、今後の課題や対策を説どの調査結果を踏まえ、どうしたら健康寿命 器の能力低下)の対策として 大川市の高齢者の人口推移や身体機能な シンドロー ム(加齢

ロコトレというト レーニングを紹

減少している、増やすにはどう「高齢になるにつれ運動量が の中から片足で1分間立つと すればいいか?」という質問に対 答では、たくさんの質問が出 践してもらい、講演後の質疑応 いうロコトレを参加者全員に実 介した。 3種類のトレーニング

です。簡単そうに思えても、無理せず維持してい くことが重要です」と答えていた。 「運動量を増やすのではなく、現状維持が

気の講演は大変好評で、「また次の講演が れば参加したい」という声が多く寄せられ ご参加いただいた皆さまには、今回の講演を活 大きな身振り手振りを交えた楽しい雰囲



大川

キャンパスレポ

福岡

IUHW Public Relations Magazine 2020.1 10

11 IUHW Public Relations Magazine 2020.1

遺志を受け継ぎ、病院のハ

-面の充実

、さらにすばらしい病院となるよう取り

日に逝去された北島政樹総病院長・副理事長

よう邁進してまいります

施設インフォメーション / 新春のごあいさつ ●国際医療福祉大学病院 ●国際医療福祉大学塩谷病院 ●国際医療福祉大学三田病院 ●国際医療福祉大学市川病院

病院長 国際医療福祉大学病院



介する逆紹介率は30%未満であり、本年 は、近隣の診療所、病院とは良好な関係が築 結果、より多くの患者様が受診ならびに入 8床の病院として稼働しました。その院は昨年2月、従来の353床カら 、地域の皆様にさらなる貢献ができた ましておめでとうざ 方で、当院から他の医療機関に紹 紹介患者数は昨年を は75%に達してお 病診連携の点で 上回る月

対応し、当院の災害派遣医療チ

干葉県、栃木県の要と医療チーム(DMA

対応と良質な診療提供を通して、地域へのた、地元や近接地域の方々への親身な応需

回の医療連師と、より緊

よび「がん診療連携拠点病院」として専

当院は、東京都の

急指定病院」

診

療科

性の高い急性期医療を行っています

ま

昨年は、関東地方で発生した台風被害に

日々医療の充実に努めてお

方々の健康を守る基幹病院の役割を担当院は、塩谷医療圏を中心とした地域

昨今、災害の頻度が増える中で、当院の災害請に応え れるエリーシン

放射線技師35人、検査技師65人、メディカ166人、看護師297人、薬剤師31人、

当院はベッド数29

1床に対

し、常勤医

ルスタッフ86人と、特に充実し

を有しています。

。最新の

医療機器をそろえ、

た医療スタッフ

病院スタッフがチ

-葉県に、

施設

請に応え、初めて県内外へ出動いたしました

備を重ねています。医学生の欲求を満たし臨床実習を行うために、多くのスタッフが準の臨床実習も始まります。現在、充実した 初期研修医の定員が5人から今年度より課題にしたいと思います。 で活躍する医師が誕生し、医師不足解決の た臨床実習が達成できれば、将来この地域備を重ねています。医学生の欲求を満たし 若手医師の増加により当院の活性化が期待19人に増え、現在十数人の応募があります 今後も診療、教育および研究面でのさら 。さらに、4月からは本学の医学生 も職員が

展に努めてまいりますので、引き続きご指道となって、より一層の地域への貢献、当院の

病院長 須田 康文塩谷病院



倫孝 山形大学卒、医学博士。前自治医科大学産婦人科准教授。日本婦人科腫瘍学

会認定指導医、婦人科腫瘍専門医、日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医、日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医、日本臨床細胞学会認定細胞診専門医、 日本がん治療認定医機構がん治療専門医

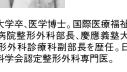
つ、積極的な活動をしてまいります。おり、今後も地域、院内での訓練を継続医療に対する取り組みは高く評価され 学部臨床実習に向けて準備を進めてい受け入れました。目下、次年度からの パス医学部の1、2年生を対象と ところで エクスポージャー(早期体験実習) 月と9月には、本学成田 を 医 る

今年は、将来の医師育成を手助けでき力体制の維持、発展に努めております。行政機関・医師会や地域の代表者との協絡会議」、「運営協議会」を継続開催し、終、「矢板市・国際医療福祉大学代表者連め、「矢板市・国際医療福祉大学代表者連 また、地域医療への貢献を充実させる

にも取り組んでまい るよう、施設・人的体制の構築を整備重 点

教育機能を充実していきたいと考えています。床の実践と並行しながら、医療人育成の臨床含め、すべてのスタッフが協力し、高度な実地臨

始します。成田病院の医療スタッフとの連携も 当院でも本学医学部4年生の臨床実習を開



慶應義塾大学卒、医学博士。国際医療福祉 大学三田病院整形外科部長、慶應義塾大 学病院整形外科診療科副部長を歴任。日

病院長

本整形外科学会認定整形外科専門医。

三田病院国際医療福祉大学 \mathbf{H}

東京大学卒、医学博士。東京大学大学院

病院長 佐伯 直勝市川病院

麻酔科学教授、横浜市立大学医学部麻 酔科学教授、日本麻酔科学会第61回学 術集会会長、日本麻酔科学会副理事長を

千葉大学卒、医学博士。千葉大学名誉教

日本脳神経外科学会専門医、日本神経学

授、前千葉大学脳神経外科学教授。

東京大学卒、医学博士。前東京大学医学部産婦 加を積極的に行いました。また、毎月のメデ携症例報告会を実施、医師会行事への参 ープ内外からの実習生に加え、昨年大きな役割が期待されています。事史 附属病院として、診療と教育でのさらなる との中間に位置します。その立地条件から、 り、成田と都内にある複数のグル 教室、脳卒中カフェなど、 密な交流を図る目的で、 の高い医療を提供すべく精進してまいり の増設や人員拡充を進め、地域の皆様に質 も始まりました 本学医学部生の早期体験実習 を高める活動を行いました。 ムとなり、地域住民の皆様の健康への意識 人科学教室教授、元東宮職御用掛。日本産科婦 当院は、成田キャンパスと同じ千 人科内視鏡学会技術認定医、日本生殖医学会生 殖医療専門医、産婦人科PRP研究会代表世話人。 17年に本学5番目の附属病院と 一環として、近隣医師と、 病院長 高木病院 シェなど、病院スタッフがチー・健康教室の開催、糖尿病

事実、グル

の受け

からは

2664件)と多くの患者様にさまざ間3656件(うち全身麻酔下手!

入院患者数は同239人、手術件数は年

高度医療をご提供しました。

4月に、成田に新病院が開設しますが

セラピーの治療装置を設置いたしました。

年はCT撮影装置の更新と新

年の外来患者数は1日平均90

0

成田病院やグループ施設との親密な連携を病院が開院します。本学医学部をはじめ、 教育施設として切磋琢磨していく所存です 図り、附属病院の名にふさわしい診療、研究 **|院が開院します。本学医学部をはじめ、今春には6番目の附属病院として成田**

センター

慶應義塾大学卒、医学博士。慶應義塾大

学客員教授。日本消化器外科学会認定 指導医•消化器外科専門医、日本外科学

会認定指導医·外科専門医。

ション

徳島大学卒、医学博士。元栃木県身体障害医療福祉 センター医務科長。国際医療福祉大学大学院教授。

います。国際医療福祉 あけましておめでとうござ は 2 0 0 0年に テ

県より災害拠点病院の指定を受け、災害派遣医く職員一同、日々努力しております。昨年は静岡

当院は静岡県東部に位置し、伊豆半

島東の要と

地域の皆様に安心・安全な医療をご提供すべ

治療施設「那須こどもの家」や幼療育園」では、隣接する児童心理 那須」との複合施設です。「なす 体に障害を持つ方を対象とし 達障害等における地域の療育の 開設し、今年で満20年になり ども園」の支援も行っています 保連携型認定こども園「金丸こ 施設入所支援および日中活動サ 核である「なす療育園」と、 当センターは、心身の障害や発

療機関との「医療連携協議会」を開きました。昨年初めて地域医療の連携を目的に、周辺医

想定した総合的な災害訓練を実施しており、地域災 た、11月には総勢8人で、今後予想される大地震をで危機を乗り切る体制を整えることができました。ま

害対策の中心病院として日々意識を高めています

は、台風に対する危機管理チームを発足し、病院一丸

昨年、甚大な被害をもたらした台風15号・

19 号 で

AT)指定病院に認定されました。

今後も定期的な開催を続け、各医療機関との連

携に力を入れていきたいと思っております

時においても地域の医療機関や医師会との連 災害時における支援活動はもちろんのこと、

一層地域医療に貢献できる

に東京赤坂キャンパス内に定野キッズハウスに加え、本年4 としては、金丸こども園・西那須さらに、社会福祉法人邦友会 人の保育園の開設を予赤坂キャンパス内に定員

施設イ

ション

新春のごあいさつ

国際医療福祉大学熱海病院

●国際医療福祉リハビリテーションセンター

●山王病院

施設長が原表

山王病院 病院長

熱海病院国際医療福祉大学

病院長

池田



2020年、新 その進み具合によれば、当園は、かなり足早に移り進んでいます。 が施設内にあふれるようになる を活用したさまざまな支援機器 思っています。また、ロボット するのが当たり前になるだろうと 介護職に、外国の方々が仲間入り スや高齢者サ ます。近年、日 新 ましておめでとうござ 宿け ・ビスを巡る状況は、 年目を迎え き園は、

学者が訪れることを予想し、職員の際に、もしかすると諸外国の見東京オリンピック・パラリンピックに向けた具体的な動きが必要です。 員全体が業務改革への自覚と、それになるわけではありません。施設職あり、待っていればそのような状況 でさまざまな工夫をしながら果敢 に取り組まなければならないもので しかし、外国人介護職のことやロ 技術導入のことは、施設全体

令和になって初の新年 をお

歴史を築いてまいりました。 学の臨床医学研究センタ オープンで安心な、思いやりの ず研究センターの一い、国際医療福祉大 一の創設以 祝

Ė

す。がん号所養よく、
内視鏡手術を多数行っておりま
先端の生殖補助医療と、高度の ナノナイフですい臓がん・肝臓がす。がん局所療法センターでは、 ク部門がより強化されます。 合的な診療体制をとっておりま らゆる眼科疾患に対応できる総 女性医療に特化したリプロダク 広い分野で外来・入院診療を行 式と通常の診療科をあわせて幅 んの低侵襲治療を行ってお -スセンターと協力し、センタ・山王メディカルセンター・山 出産はもちろん、 (眼科)では、

令和初めてのお正月に際し、 九州大学卒、医学博士。高木病院呼吸 器センター長、国際医療福祉大学教授、 佐賀大学医学部呼吸器内科臨床教授。

グループ施設の母体病院として、今年創立110年となりますが、少子・高齢化の荒波をもろが、少子・高齢化の荒波をもろが、少子・高齢化の荒波をもろが、少子・高齢化の荒波をもろが、少子・高齢化の荒波をもろく抱えた本邦医療のありを多く抱えた本邦医療のありを多く抱えた本邦医療のありを多く抱えた本邦となっての前進を決意 しております

京富业大学福岡シミュレーションめました。また、併設の国際医病棟を設置し、地域ぐるみの健病 年年9月には地域包括ケアー・ これまでに培われた資源を生質の充実に取り組んでいます。 質の充実に取り組んでいます。 質の応実こ取り組んでユます。CPRの実習達成など、診療の教育で、全病棟看護師参加での医学センターを活用したスタッフ さらに強化して、地域の皆様

りに体を動かす

が飛び出

顔

終

施することになった。

訓練終了

後の反省会ではさまざまな意見

みが重要になると考え、総合的な訓練を実た。そのため、これまで以上に災害への取り組

对策の要としてその重責を担うことになっ

長は「当院皮科の菅谷誠部

膚科診療における特色」について報告を

ることができた。

ム部署間を超えた絆

を深め合い

が交わされた。このような大規模訓練

0)

必

域連携について広くご意見、ご要望をい

(地域医療連携室

弘一郎

や医療関係者の方々と親睦を深め、

地 た

報告会後の懇親会では出席された先

要性を参加者の多くが身をもって実感で

あることであった。 (管理課

一日となった。

(総務·人事課

荒巻一恵

中には久しぶ

なった。参加者

上がりと

参 81 目 とな

るなど

●参加者全員での集合写真

、今後は地域医療のみなら月、静岡県から災害拠点病

県東部の災

を受

63歳の女性」

て、 皮膚 感を訴える

ら人の職員が 今回で3回

専門職講話と病院見学会

施設インフォメーション・国際医療福祉大学病院

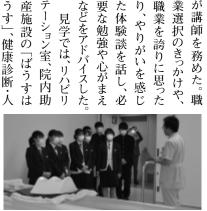
●国際医療福祉大学三田病院

茨城県立下館一高生徒が来院 際医療福祉大学病院

来院し、 (1、2年生)と引率教師3. 茨城県立下館第一高等学校の生徒36 専門職の講話を聴き、 人が12月5 病院見学会

在職中の理学療法士 美子看護部長のほか、 講話は血液内科の寺田芳樹副部長、大草 視能訓練士 診療放射線技師の計 作業療法士、言語聴 本学卒業生で当院

産施設の「ばう 職業を誇りに思った 要な勉強や心がまえ 見学では、リハビリ ション室、院内助 験談を話し、必 のきっかけや バイスした を感じ ź



●放射線室のPET-CTを見学:現場の診療放射線

技師から説明を受ける生徒たち 気の1位は狭心症や「死に至らしめる病 善が大切だ」と述べた。 煙など生活習慣の改 療には食事、運動、禁 性心臓病。2 心筋梗塞などの虚血 ベースには動脈 んでいる。

治療機械の治験を始めている」と明かした。 のが出ている」と紹介した。認知症については るかがボイン どの不整脈への対策では「ふらつき、失神が 軍からの治療が大切だ」と指 は「適切に治療しない 「微小脳血管の機能不全で起こると考えた。 するが、血液をサラサラにする薬も 心不全について などでバックアッ 房細動 ŧ な あ

放射線室のPET-CTや放射線治療機器

めの会員制クラブ「那須メディカルクラブ」、

ックの予防医学センター

健康増進のた

医師によるシンポジウム「心臓病の状 講演後は、柴信之副院長と講演し た教師からも「大変に実のある研

修だ」と

持ちが高まった」などと喜んでいた。引率

「貴重なお話を聞けて、その道をめざす気

高校生は、「進路について参考になった」

お礼と感謝の言葉があり、「また来年

お話をい

心臓病治療の市民公開講座

当院で開催し、患者様や近隣の方など座「循環器センター特別講演会」を12月22日、心臓病治療~」をテーマにした市民公開講「健康寿命にかかわる心臓病~最先端の

学院の下 のための心臓病の知 ンター部長の基調講演に続き、東北大学大 武田守彦冠疾患部長、福田浩二不整脈セ 宏明循環器内科学教授が「長寿 識」と題して特別講演

れる場合、

区が災害医療体制を整備す

な災害が発生し多数の負傷者が想定さ定」を締結した。この協定は、大規模

「災害時の緊急医療救護所に関する協区内の他の病院とともに、区との間で

当院は11

山王病院など東京都

(前列右端が山田病院長、2列目右から3番目が山王病院の

関する協定を締結巻区災害時の緊急医療救護所に

国際医療福祉大学三田病院

者に対する応急処置等を実施する場所る目的で、傷病者のトリアージや軽症

川教授は

もので、

として「緊急医療救護所」

当院も緊急医療救護所を設置緊急医療救護所」を設置する

を行った

講演で下



●特別講演会には多くの参加者が集まった

要な準備を進めて

いきた (総務課

金澤

する病院のひとつとして区と協定を結 んだ。 当院から

芳嗣

病院長が 港区役所で行

席

た。はじめに協定書の概要説明が行われ、次に区内の12病院の代表がそれぞれ協定書に署名。武井雅昭区長からは、次害時の協力体制の構築や平時から情報交換を行うことなどの要望があった。当院は災害時、緊急医療救護所の設置が必要と認められた場合には、ただといいできるよう、必ちに開設し運営に協力できるよう、必ちに開設し運営に協力できるよう、必ちに開設し運営に協力できるよう、必ちに開設し運営に協力できるよう、必ちに開設し運営に協力できるよう、必ちに関いである。





●期待を込めて挨拶する武井区長

山王病院/山王メディカルセンター

長期療養入院受け入れ開始

院内ソフトバレーボール大会

大規模な総合防災訓練を実施

医療連携症例報告会を開催

国際医療福祉大学市川病院

国際医療福祉大学熱海病院

当院の院内ソフ

大会を

ャをン11

部門のほか、小

田原保健医療学部の学生ボラ

各診療技術部門

事

医療連携症例報告会」を

「第4回国際医療福祉大学市川

川病院

務医

看護師をはじめ、

月24日に総合防災訓練を実施した。

日、国際医療福祉大学大田原キ

国際医療福祉大学塩谷病院

治療が終わったが、その病院で継続長期入院のような患者様を対象としている。「急性期 養していたが、 ができない」「医療的支援が必要となり高齢 療養を目的とする入院のことで、たとえば、次 性期の治療ステージにある方が、長期にわたる を開始した。長期療養入院とは、高齢者や慢3分)ではこのたび、長期療養入院の受け入れ 者施設での 生活がむず カルセンタ かしくなっ 一病院からな た」「在宅療

やすい施設で長期療養し 必要となった」「医療設 山王メディカルセンタ 、家族が訪問しイバシー環境が

備とプライ

顔が見える交流 係なくお互いの 部署・職種に関

場として開催

る

は2階外来前とし、赤

か 1

階救急

●ベンチベッドを配置した

が「四肢の脱が下四肢の脱がが、

●大平部長(総合診療科)の講演に耳を傾ける参加者の方々

は20

9年の開設以来、

報告会では

黄タグエリアを設営

設営した。緑タグエリア 配置し黄タグエリア ト、総合案内前には災

10 台 を

を

玄関前にトリア

ージポス

規模地震を想定した訓

3階正面

●災害時におけるトリアージの

としている。

携を図り相互に理解を深めることを目

みを紹介することで、

緊密な医療

こを目的 、取り組

した。また各診療科の治療内容、

シミュレーション訓練

師会会長

生方に参加いとのである。

病院長の挨拶のあと、

あいにくの天気だったが

八候を選

ら紹介いただいた患者様を、当院でどの

市や近郊の医療機関

に治療したかを地域の医療関係者に説

ィアなども加わり、総勢81人が参加した。

患者搬入訓練を行った。 外来では救急車による

当院は20

9 年

動の

環として、 る。その活

大会を

毎年、

環境づくりを進

と感じる職場

病院全体でワ

クライフバランス活動に

入れており、院内の安全衛生委員会



たい」などである。



境を備えたクリニックとして実績を重ねてき が充実した療養環

体制とともに、アメニティ

山王病院や三田病院と連携

がむず より一層努力を重ねていきたい。提案として満足いただけるよう て、今までになかったニーズを満たす までさまざまな理由で、既存の施設では対応 門や健診部門、透析センター た。これまでご高評をいただいてきた診療部 この長期療養入院は、まさに山王メディカ ションを行う環境も整う予定だ。 かしかった患者様とそのご家族に対 の特長を生かした内容といえる。こ に加え、リハビリ

•

先は全15カ国22研修先で、700 を実施した。今年度夏季研修先の渡航間の総合教育科目「海外保健福祉事情」 上の学生が参加し 度も夏季休暇中に約2

国 16 グループのレポー 今号では前号に掲載できなかった トを紹介する。

日韓関係悪化でも素敵な交流 仁済 (インジェ) 大学校

田原保健医療学部 岩上さや 作業療法学科

初めての学生もおり、出国直前まで見聞 係が悪化していく中での渡航。海外渡航が 実施した。今回の大きな心配事は、日韓関 はいないだろう きする報道から不安を感じなかった学生 スから学生 44 韓国・仁済大学校研修は4つのキャンパ 人、教員2人の総勢46 人で

思を

道は一部が誇張されているのだと気づか 生と教員たちから温かい歓迎を受け、報みないとわからないもの。仁済大学校の学 本研修の特徴は全ての日程に現地学生 本当の関係は自分で体験して

今回は休日も。学生たちが懸命に韓国語 大学での講義も病院見学 Ę

> 穂さんに任せたい。伊藤さんよろしく 間の素敵な交流がそこにはあった。どの を用い交流する姿が印象的だった。個 なことが学べたかの報告は次の伊藤 瑞

> > 1

意思を明確に伝える方法習得

看護学科

伊藤瑞穂

の沿革を学び、その学びを元に病院見学本研修では座学で韓国における各職種 が幅広く、特に日本では言語聴覚士が専 に参加した。韓国では作業療法士の役割

印象に残った。 の役割であるのが 練も作業療法士 とする嚥下 訓

験から、 今後さまざまな できた。この経験を、 身に付けることが 思を読み取る方 る方法、相手の意 学生との交流経 や翻訳機を活用 コミュニケ 法を実践的に学び した仁済大学校 また、非言語的 明確に伝え 、自分 ション の意

見が関係性を築く際に障害になると気づら温かい歓迎を受け、自身の思い込みや偏道で不安もあったが、仁済大学校の方々か 立てたい。日韓関係が悪化 場面での患者様との しているとの報 ●韓国·仁済大学校集合写真

成果を見学、体な取り組みの 作(ADL)や生の日常生活動 ることを実感 に力を入れてい 高齢者の医療 験することがで 活の質を向上 館では、高齢者 親和総合体育 き、韓国でも、 するための様々

地への移動は、 施設や観光

生のサポー ったが、乙支大学校の国際担当者や通訳学 うことができた。 学生の安全について配慮が必要な場面があ 情勢が緊迫化している状況下であったため、 の日常生活も体験することができた。日

講師 仙波洋子福岡看護学部 ***•*** 韓国でも力入れる高齢者医療 乙支 (ウルチ) 大学校 看護学科

心に研修に の学生も興味関 学生も興味関心のある内容であり、熱中心となったプログラムだったが、他学科 乙支大学校での研修は、理学療法学科 臨

んでいた。高齢

地下鉄やバスを利 トで、安全に充実した研修を行 用することが多く 日韓国

●乙支大学校での研修修了書の授与式

准教授 堀田英樹成田保健医療学部 「もてなし」で不安が解消

聞き回っていた。 国通の先生に「本当に大丈夫で 対する反日運動の盛り た。原因は「ホワイ 海外保健福祉事情では2度目の韓国が決

8日、韓国入国審査時、なぜか長時間

行動、ソウル市内への行き来禁止」と決定。10スタッフとの打ち合わせの席で「土・日の自由 で報道される煽られた不安は、全く無駄であ の頃の韓国はなくなったのか」と思い悩んだ。 の旗の下、市民運動を展開していた。「もう まで以上の「日韓友好」を実感した。マスコミ の温かな「おもてなし」を受けた。また、これ 建陽大学校の学生・職員から、心憎くいまで しかし、10日間を過ごし終えた感想。私は |車で街中を移動時「NO J A P A N

韓国の学生と協調関係を築く

2 年 成田看護学部 榎堀祐依 看護学科

川プコグラムでは、韓国の病院を見学した看護制度など様々なことを学んだ。学科 研修では、韓国の文化、医療福祉事情 **「解剖学実習や注射・血糖測定・心肺蘇**

レゼンや演習を通しごとに行った。このプ 学んだことをまとめ ログラムでは、前日に たプレゼンをチー た。そして、学科別プ

て、知識がかなり身

についたと感じている。

また、研修中には建陽

護演習を行ったりし



でき、協調関係を作ることができた。 て楽しく研修期間を過ごした。韓国の 物をしたりご飯を食 ションをとることが 大学校の学 べたり 生 方 し

> がとうございました。 しく様々なことを学ぶことができた。あり この研修ではたくさんの方のおかげで楽

引き留められ、超ドキド

キ。同日、建陽大学校



韓国医療の現状知り驚く

准教授 森· 森山ますみ 看護学科

病院見学、韓国文化体験、学生交流と素健福祉事情に参加した。臨床病理学実習、大邱韓医大学校臨床病理学科で海外保引率教員2人は8月5日から15日、韓国 晴らしいプログラムだった。 大川・福岡・成田キャンパス35人の学生、

トソンを見学し、韓国の医療の現状を知り病院では、臨床検査機器や人工知能ワ ŋ

いもてなしに感動し、多くのことを学び、有生方、学生の皆さん、関係者の方々の温か相互理解や友好関係を深めた。韓国の先 韓合同チ 意義な日々を過ごした。 韓国料理が披露された文化交流プログラ ム、日韓の学生一緒 韓国の学生がサポ ームによる体育大会、歌・ダンス・ の大邱市観光を通して、 トに入った実習、 日

世界にも視野を広げる契機に

福岡保健医療学部 医学検査学科 富岡未来

間、韓国の大邱韓医大学校で研修を行っ 語の壁はあったが、韓国 採血演習や顕微鏡での細胞観察など、言 私たちは8月5日から の先生と学生が 「までの

> つひとつ丁 点なども感じた。 時間を過ごせたと同時に. 寧に教えてくださ 本との 有意義 違 な

> > 博物館では、ポル・ポ

ト派により約

40年前、

国民の4分の1以上が虐殺されたという

悲惨な歴史を示す生々しい写真や展示

物

アの人々が背負う「負の遺産」についての理を目にし、発展のために努力するカンボジ

解も深めることができた。

折ったりかき氷を は共に折り紙を 交流を行い、友情 作ったりと楽しく $\begin{matrix} T \\ O \\ M \\ O \\ D \\ A \\ C \end{matrix}$ 輪を広げるこ HOURで

について触れることができ、自分の視野を 貢献できるよう学び続けていきたいと思 みならず世界にも目を向け医療の発展に 広げる契機になったと感じている。ここで 今回の研修で、韓国の医療体制・文化等 た貴重な経験を胸に、これからも日本の

カンボジア

カンボジアで見た光と影

教授 高須賀茂文 医学部・総合教育センター

はその姿勢す

私たち全員

たちだった。

きた。 や保健センターを訪問。また、王宮やアンコ ケットでの買い ボジア第2の都市シェムリアップにある病院 ついての講義を受けた後、プノンペンやカン 行った。研修では、カンボジアの医療制度に ンペンにある国立保健科学大学で研修を 3日から13日までカンボジアの首都プノ 2人の教員で19人の学生を引 などの名所を観光し、 物もたっぷり楽 、現地のマ

らに研修後半に訪 れ たトゥ

発展を心から願っている。

いに感謝し、カンボジアの医療のさらなる

私は10日間にわたる研

修での全ての

似ている日韓の医療制度

2年 宮内萌々花成田保健医療学部 理学療法学科

法士の自律権の推進が日韓両国の今後の 国であることを知った。そのため、理学療 課題として挙げられていることがわかった 理学療法士に開業権が与えられて 似ており、その中でも、日本と韓国だけ で研修を行った。日韓の医療制度はとても ャンパスの学生 26人で韓国の乙支大学校 1日から11日の間、成田と福岡 ない

るチマチョゴリを着るなどして韓国文化に 度について学ぶだけでなく、民族衣装であ 触れることもできた。現地の学生との交流 後の学習に生かせるように励んでいきたい た。今回の研修を通して学んだことを今 に、非常に充実した研修を行うことができ も多く、忘れられない思い出となるととも また、韓国の医療施設の見学や医療制

(コニャン) 大学校

作業療法学科

修した時と異なり、得も言われぬ不安があっ まった。3年前、楽しく「仁済(インジェ)」で研 ト国」から除外したことに がりである。私は韓

研修で学んだ笑顔の大切さ

成田看護学部 斎藤慎太郎 看護学科

本学の提携先である国立保健科学大学の カンボジア研 ションの重要性を学ぶことができた。 修を通して、笑顔とコミュニ



を考えて、

●TOMODACHI HOURで自作のゲームを披露

笑顔で振る舞うことで良い関係を築くこ

モチベーションを高 激を受け、慣 てから大いに刺

めること

カてき

ま

な

たとえ相手

の言語を理解できなくとも

単で、世界共通の、誰もが幸せになれるコミ とができることも学んだ。笑顔は、最も簡

ルだと思う

17 IIUHW Public Relations Magazine 2020.1

海外保健福祉事情

同年代同士心通わせたのが宝 総合教育センタ 田中泰郎 語学教育部 ル工科大学

病院、リハビリ施設等、学生のニーズに合編成は非常によくできたものだ。大学、 致した見学場所が豊富に用意されてお シンガポ 非常に有益だった。 彼の国の実情がよくわかるものであ ル工科大学 (SIT) 研修



●マーライオンの前で記念撮影

来患者は1 ちらの病院も常に人が混雑しており、 トナムの風 研修は、国立チ 薬科大学を主に見学した。ど 日 7 ライ病院とホ 超える。さらに、

千以上、外来は1日数千

人にもなる。

当

保健医療学部

理学療法学科

斎藤大輝

日越医療を深く考える機会

あり医療過誤のリスクも高い

人ひとりに目を向けることは困難で

患者の多くが医療保険に加入しておら

するのは膨大な数の患者で、病床数は3

1万人を超院の内外は ず家族が数となれば必 とである。 **小況で家族** んるよう 集まりで とい 人が病院 として家 愛が強く . う こ き添

るなど、戦争の被害が何世代にもわたってを受けたことで、奇形が生じた子どもがい

また、上の世代が戦時中に枯葉剤の被害 反応してしまう事例があることを知った。 時の銃弾や金属の破片が原因でMRI 者が多く見られた。高齢者はベトナム戦争 ず、交通量が多いために事故による外傷患

爪痕を残すことを実感した。

っぱいであ

は違う家族の文化、 ムの文化を知ることができ 病院の見学 修 ●Centre for Social Assistance for Disadvantaged Childrenで施設の説明を受ける学生

戦争が何世代にも爪 (痕残す

ている。

要としている患者の姿が特に印象に残っ

Cでは、大腸がんの手術後、人工肛門を必にもベッドが並んでいた光景が、そしてUM

病院では、患者が病院内外に溢れ、廊下 という2つの病院を訪問した。チョ

以口MC (University Medical Center)

11日間の滞在中、国立チョ

講師 三浦美恵子総合教育センター

医療人こそ国際人でなけ

れば

語学教育部

成田看護学部 看護学科

平田 二純

ことができた。日本とは大きく異なる医療 ベトナム研修では2つの病院を見て回る 境に驚かされた。

> 背景が支援の壁になってはならない。 絶対に必要であり、患者の言語・文化的

ない」ということだ。医療は人類にとって とは、「医療人こそ国際人でなければなら

このたびの研修を通して強く感じたこ

を通して、大学名に「国際」が含まれてい

る意味を理解できたような気が

してお

にこの

内の雰囲気など、違いがみられたが、共通 2つの病院は衛生面や最新設備 病棟

> ことは、この研修での大きな宝物となった ことだろう。そんな学生たちの姿に頼も 流はとても友好 を乗り越え心を通わせることができ やはり同年代の者同士 的かつ積極的に行 、言葉や文化の われ 壁

の糧としてほしいものである。 回の研修の意義を今一度問い直し、今後 組みにも違いが出てきたはずである。 こがはっきりとしていれば、自ずと取り 的意識は確かなものだっただろう 海外研修で何を達成したい、という か。 そ

安価な福祉サービスが充実

成田看護学部 平山大起 看護学科

っているようだ。 国民の負担を軽減するための制度が整 安価で受けられる福祉サービスが充実し、 いた。物価の違いはあっても日本よりも るなど、将来を見据えた設計がなされて 域内で活動できる空間・環境が整って 野外訓練施設が充実 ルで訪れた病院では、院内 しており、移 住

し、患者の意見や希望を尊重することをかなど、患者本人が受けたい医療を選択めている。東洋医学、西洋医学のどちら 大切にしている。 意見を出し合い、最善の医療の提供に努 にしており、それぞれの職種の視点から 日本と同じように他職種連携を大切

使いリハビリを行っているのが印れるように、本物のバスや地下は その人が今まで暮らしていた生活に戻 鉄などを

しさを感じたところである。

講師
徳江武
福岡保健医療学部 学生交流から多くを学ぶ

祉施設を見学した。 医療制度、ヘルスプロモーション、社会福祉 に関する講義を聞くとともに、コミュニテ ックでの研修に参加した。シンガポー パスの学生30 ・ホスピタル、リハビリテ 大田原、成田、赤坂、小田原、大川キャ 人が、ナンヤン・ポリテクニ ション施設、

方に触れ、さまざまなことを考え、学習 介しながら、よく質問していた。 立基金など日本とは異なる制度や考 たようである。 学生たちは日本の医療福祉事情を紹 え

通には伝え

れ、意思疎

ちとの集いでは、医療福祉の道を志す学られた。ナンヤン・ポリテクニックの学生た られた。ナンヤン・ポリテクニックの学生たる学生達が交流を深めていく様子も見 生として意気投合し、大変仲良くなって 研修が進むにつれて、 キャンパスの異な

意思疎通には表情も大切

2年 幸山千紘 作業療法学科

学生同士で良かった点・改善点を出し合 再現したマネキンを使ったセッション後に、 を行った。ここではシミュレ ガポールのナンヤン・ポリテクニックで研修 した学習が行われていた。患者を忠実に 私は8月31日から9 月 10 日までシン ションを活

理学療法学科 ルの 見が多くと 学んだ。日 度について かった。 新たな発 制度であり 本と異なる 初めての

-央積 地の方々のだが、現 温かさに触

●ナンヤン・ポリテクニックでの集合写真

生かしていきたい た。この貴重な体験をこれからの生活に ようとする気持ちに加 ールであることを改めて学ぶことができ

福岡保健医療学部作業療法学科日本とは違う家族の文化

講師 有久勝彦

は雨季の影響もあって涼しいと感じるこ が参加した。8月 高気温は31℃。亜熱帯と思っていた気候 本研修は、学生23人と引 1日から11日までの最|23人と引率教員2人 率教員2



はなかなか入れないような場所も見学 について深く考える機会となり、そ 関する講義を受けるなど、日本の 急で働く させていただいた。ベトナムと日本の医 を目 の当たりに 実験室で微生物に る患者の 病院で

> 痛感した。 とともに日 本における医療の進歩

フの皆 全ての方々のおかげだ。最高の思い出を 快く質問に答えてくださつ い英語に耳を傾け、何度も説明してく れた仲間たちをはじめ、 ありがとうございました。 今回、充実した研修ができたのは、拙 様、またいつも一 緒に過ごしてく お世話になった た現地スタッ

ベトナム人の勤勉さに感銘受けた

准 薬 教 学 授 部 浜田俊幸 薬学科

を走るバイクの量の多さや雨期の激し加した。ハノイの中心地に滞在し、街 学および国立バックマ 勉強した。 成田グループ 14 人で国立ハノイ医科 雨に驚きつつ、ベト 教員2人と福岡・大川グループ9 ナムの医療の現実を イ病院の研修に参

質問した。10日間の研修だったが、「もうしながらも、研修最後の頃は積極的に皆 の皆さんの勤勉さに非常に感銘を受けた ケアをしていたのが印象的だった。滞在中り、看護師に指導を受けながら中心的に に私たちのお世話をしてく 専門用語や英語でのやりとりに苦戦 患者の家族は患者と病院を訪れてお 、れたベトナ・ 4

会福祉制

高い授業を体験した。また、講義では社 い、新たな気づきを導き出すという、質の 准 教授

矢口貴博

福岡保健医療学部

医学検査学科

「心」を通した診察受けられる

る社会主義共和国で、50の民族からな

知る機会

イス人民共和国は東南アジアに位置

カルチャーション想像を超える ーショック

薬学部

ならではの雰囲気があり、想像してい が日本とは全く異なり、また発展途上国 ベトナムの街並み、医療、文化や、生活すべ も大きなカルチ ショックを受けた。 たよ



さや衛生環境、薬の管理についても、ただ ならぬ衝撃を受けた。 た。患者の多さ、ベッドやスペ さまざまな医療機器や患者の 病院研修では、 院内を隅々まで見学 -スの足りな 様子を見

謝する。将来、医療者としてまた会える 院研修や文化交流をし、言葉の壁を越え 仲良く交流することができた。深く感 現地の医科大学の学生とは、一 緒に病

> きない貴重な時間だった。この経験を積 極的に生かしていこうと思う 旅行では決して経験し感じることがで

・ジメント&サイエンス大学

伝統ダンスや 教授 望月聡一郎 石護学科 ドリアン食体験に挑戦

ダンスに挑戦する体験や、食文化体験と多民族国家ならではの各民族の伝統的な 文化にも触れる機会をいただいた。特に プログラムに加えて、マレーシアならではの SU)の研修に参加した。MSUでは講義 人がマネ キャンパス5学科の学生3人と教 ジメント&サイエンス大学



●マネージメント&サイエンス大学内にて

う。怒涛の11日間であったが、よい思い出学生諸君は肌で学んだのではないかと思 習慣や文化的な差異に触れながら、マ張ったことは印象深いものであった。 施設で説明を受けながら見学することで となったのではないだろう

文化学ぶ異なる医療事情や

2年 藤原一真成田保健医療学部 作業療法学科

設などを訪問し、その施設特有の医療 ・シアの医療事情や文化について多くアで研修に参加し、日本とは異なるマ ハビリテ 私たちは8 ーション病院 やマレー 1 日から 11 日までマレ

学生も一緒になって踊るなど大変盛り上したり、マレーシアの伝統ダンスを日本の シアの学生は私たちの観光や市内見学に とができた素晴らしい時間だった。マレー がり、お互いの国の文化を肌で感じるこ したり、マレーシアの伝統ダンスを日 は、マレーシアの学生が日本の遊びを体験 療や文化、歴史、マレ 触れた有意義な経験となった。 も一緒について私たちのことを手 くれた。この研修は私にとって現地の医 また、TOMOD 人の温かさに

をMSUのスタッフに勧められるままに頬 してドリアンに代表される熱帯のフルーツ

・シアの保健医療福祉の実情を、研修

制や日本と異なる点を多く学ぶことがで 数原住民への医療提供病院、児童福祉施 ことを学ぶことができた。施設見学では、 本とは異なるマレ 島の少

モンゴル

ゲルでの宿泊も体験

成田保健医療学部 言語聴覚学科

佐々木香緒里

検査 6. 3人、作業療法1人、言語聴覚3人、医学人、大川キャンパス7人の13人(理学療法 研修プログラムは各学科の専門性を考 モンゴルでの研修には、成田キャンパス 人)が参加した。

の宿泊体験も行 で、遊牧民が使用する移動式住居「ゲル」 情を見学できたことは非常に有意義だっ 勉強している領域について、他国の医療事 ついて見識を深めることができた。自身が 慮したものであり、各学生が自身の領域に また、研修後半には、テレルジ国立公園 い、モンゴル文化に触れ

び、本学国際部の皆様に心から感謝申 国立医科大学の先生方や病院スタッフおよ 最後に研修中ご協力いただいたモンゴル

とって、大きな学びだったと思われる。

こともできた。これらの体験は学生たちに

意思疎通試みる姿勢が大切 福岡保健医療学部 理学療法学科

井上大夢

国の情勢、文化、歴史、衣、食、住。多くのこれないほどある。モンゴルの医療制度、現状 でも私が最も学ぶことができたと思うのは とを学び、経験させていただいた。そのなか 海外研修を通して学んだことは数え

諸外国からの支援を必要としている。 発が遅れているのが現状で、多くの分野で しており、首都以外の地域では 。人口の約 11 %が首 都ビエンチ

にエスコートしてくれたため、ラオス料科学大学(UHS)の学生が様々な場所を得た。研修期間中はラオス国立健康

の身

体を守る必要性を学んだ研修

理や観光を満喫することができた。

中でもラオス料理はとても美味しく

にエスコート

ことがわかり、可能な限り意思表示をすが、現地に着いて多少英語が伝わるという

約2週間の

研修は正直とても不安だった

意思疎通を試みる姿勢だ。

モンゴルという日本とは全く違う環境で

諦めずに意思疎通を図ろうとする大切さ

ることで現地の方も反応してくれたので、

向き合っていた。 医療現場においては「患者の目を見て話す」 の人々の「温かさ・思いやり」の気持ちだ。 「患者と心で接する」ことを理念に患者 今回の研修を通して感じたのは、ラオス

勉さを目の当たりにした。これは医療迎を受け、人の温かさ・思いやりの心・勤のスタッフ・学生、病院のスタッフなどの歓いただけた。また研修を通して、UHS

職をめざす私たちにとって最も大切

しなければいけないことだと感じた。

ケアンズ空港にて帰国の途につく

を学んできてもらいたいと思う。 は医療人として最も大切な「心」の部 診察を受けることができる。本学の学生に を受けることはできないが、「心」を通した ラオスでは日本のような最先端の医療 分

温かさや勤勉さ目の当たりに

福岡保健医療学部 松尾佳奈子 作業療法学科

●モンゴル国立医科大学内にて

文化につい とを学んで 療福祉事情・ 研修では オスの医

この経験は臨床でも必要となるコミュニ

なので今後の実習などの臨床経験に生か

ションの一環でありとても重要なこと

の病院見学 実態·僻地 の雰囲気・ では、病院 医療につ 入院患者の きた。3日間 今回の海 との

様子がみられた。

研修では、オース

が法律

伴化されていいの保険制度、

を学ん

●ラオスの伝統的儀式Baciにて

リフティングケア

るとは言い難いのが現状である。より 取り組みは行われているが、浸透してい感じた。日本でもノーリフティングケアの 負担を軽減するための配慮を随所に だ。介護をする側とされる側、両者の ることなど日本の医療との違い 医療を提供するためにも、医療従

医療従事者への配慮に感銘

2年 相川海沙、樋口瑛巴成田保健医療学部 理学 理学療法学科

助手(中西恵利菜福岡保健医療学部)

言語聴覚学科

笑顔でコミュニケーション

オーストラリア

れており、福祉器具専門店にも介助者の 出迎えられ、12日間の研修がスタ・ ケアンズ到着後、すぐにホストファ した。

張の面持ちだった学生も、研修が進む

にふれる機会を得た。研修開始時は緊 する中で、食文化の体験や、生きた英語

イを行った。ホストファミリ

ーと生活

ケアンズの研修では、学生はホー

につれて笑顔でコミュニケーションを取る

アのように、さまざまな角度から働き手 者の身体を保護するためにもオ のような対策は取られていない の需要がさらに高まっているにも関わらずこ 介護する

介助器具を用 めの器具が取りそろえられていた。 体的負担が多い移乗動作の介助では必ず への配慮に関して感銘を受けた。例えば、身 通じて学ぶことができた。特に医療従事者 システムや生活様式の特異性をこの研修を オーストラリアは多文化国家であり、医療 超高齢化が懸念される日本では、介護者 いて行うことが法律で制定さ

国立医科大学

介護者に優しい豪州流

本学はキャリアアップをめざす医療福祉職の方々を支援するため、大学院進学をはじめとするさまざまな学修の場を提供しています

IUHW Graduate School Informations

国際医療福祉大学大学院

医療福祉専門職として活躍中のみなさん、大学院でさらなるレベルアップをめざしませんか! 本学卒業生は入学金が免除となります。本学グループ職員対象の奨学金制度もあります。

社会人が学びやすい 国際医療福祉大学大学院3つのポイント

①カリキュラム

授業の多くを平日夕方以降と土曜日に開講しています。また、イン ターネットを利用したVODで都合の良い時間帯に映像を見ながら 受講できる「eラーニングシステム」を整備しています。さらに、夏季・ 冬季や日曜日の集中講義も設置しています。

②7つのキャンパス

赤坂(東京都)、大田原(栃木県)、成田(千葉県)、小田原(神奈川県) 熱海(静岡県)、福岡・大川(福岡県)に大学院のキャンパスを設置 しています。7キャンパスをオンラインで結び、自宅や職場に近い 場所で授業を受けることができます。

3同時双方向遠隔授業

全国7つのキャンパスをつなぐのは、カメラとマイクで映像と音声 を伝えるテレビ会議方式の遠隔授業システムです。遠方のキャン パスで行われる授業をリアルタイムで受講することができ、質疑応 答やディスカッション、映像のやりとりも自由に行えます。

詳細は大学院ホームページをご覧ください

https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/

学内推薦入試・入学金免除・奨学金制度あり (本学卒業生及び卒業見込者対象)

国際医療福祉大学大学院の課程編成 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 医療福祉経営専攻 保健医療学専攻 ●看護学分野 ●医療経営管理分野 ●看護学分野 ●診療情報アナリスト養成 ●助産学分野 ●肋産学分野 分野 ●理学療法学分野 ●理学療法学分野 ●医療福祉国際協力学分野 ●作業療法学分野 ●言語聴覚分野 ●先進的ケア・ネットワーク 開発研究分野 ●福祉支援工学分野 ●リハビリテーション学分野 ●医療福祉ジャーナリズム ●放射線·情報科学分野 ●生殖補助医療胚培養分野 ●医療通訳・国際医療 マネジメント分野 ●臨床検査学分野 ●医療福祉経営学分野 ●遺伝カウンセリング分野 臨床心理学専攻 ●診療情報管理·分析学分野 ●医療福祉国際協力学分野 薬学研究科 薬科学研究科 ●先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 ●医療福祉学分野 医療・生命薬学専攻 生命薬科学専攻 ●医療福祉ジャーナリズム分野 ●臨床心理学分野 医学研究科 公衆衛生学専攻 ●基礎医学研究分野 ●社会医学研究分野 ●国際医療学分野 ●医療福祉管理学分野

大学院入試に関するお問い合せは入試事務室まで(TEL: 03-5574-3903)

国際医療福祉大学大学院 東京赤坂キャンパス公開講座

初めての方から専門職の方まで、どなたでも受講できる、医療福祉の生涯学習コースです。ご 自身の関心にあわせて好きなコースを選択できます。受講会場は東京赤坂キャンパスを基本 とし、大田原・成田・小田原・熱海・福岡・大川の各キャンパスでも遠隔受講が可能です

2020年前期講座一例		
講座名	講師	開講日
ICT・人工知能を活用した ヘルスケア戦略	高橋 泰 教授 武藤 正樹 教授	4/13開始 月曜19:45~21:15
社会保障への数理的アプローチ	中村 秀一 教授	4/14開始 火曜19:45~21:15
神経心理学と脳画像	内田 信也 教授	6/13開始 土曜10:40~17:50



2020年度

講座の詳細・お申込み方法はホームページをご覧ください。

https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/nogizaka/

ではないだ

験になっ

[を見張っ

訪問を行った。

げることなく機械で移

組みがあ

公立病院での

受診は

●リフトで患者を移動させる実技を体験



体験や観光地訪

何の研 のさまざま

一験をこれ

からの学 ただいた。 がいたからだと思う。

な方々に助けて

常に

交じって会話する度胸はつい

た。それでも、さまざまな国の

学

れることがで

の国の文化や

に

間が 分な

時間が か

な か設

さまざまな違い感じた2週間

理学療法学科

2週間の海外研修でさまざ 。 回 の を学ぶことが

施設)をご

八語での の英語 宝な経験に ス大 グ 自 学



●グリフィス大学の医学生とのビーチバレー交流

ンを

環境でサ れたホストファ



●ホストファミリーの皆さんと記念撮影

多様で密度濃い研修内容

三輪建太

交流を深 パス5学 医療 からの参加があり た。 学生

かりだったが、約2週

を作るこ

ど盛りだくさんの研修だっ 3つのキャンパスから集まったこともあって Private hospital&aged care

ホストファミリ 青山浩己 薬学科

23 IIUHW Public Relations Magazine 2020.1



2018年4月に赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の1 期生で創部しました。「ダンス経験者やダンスに興味がある 人の集まる場所として気軽にダンスができれば良いのでは ないか」という思いがきつかけです。

週1~2回東京赤坂キャンパスの体育館を主な活動拠点と して活動しています。

昨年度は東京赤坂キャンパスの大学祭[茜陵祭]で第1回 目の公演を行い、12月に第2回公演となるクリスマス公演 を行いました。また今年度は第3回公演として新入生歓迎公 演を行い、台風のため中止になってしまった「茜陵祭」の代替 公演として12月11日に第4回公演を東京赤坂キャンパス 講堂で行いました。

昨年度は赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の1期生12 人で活動し、今年度は1期生1人、2期生5人を加え、多少人数 の変動はありましたが現在は総勢16人で活動しています。

ジャンルはヒップホップやロック、ガールズなどで、基本 的に自分たちで振り付け・構成を考えて踊っています。最近 は話題のK-POPなどのカバーダンスも踊っています。

サークル内には、ダンス経験者も未経験者もいて、時には みんなで笑いあったり、時にはぶつかることもありますが、 真剣に協力しながら日々練習を行なっています。今年度は新 たに後輩も入り、後輩指導に苦戦しながらも1期生は指導に、 2期生は1期生についていこうとお互い必死に頑張ってい

来年度、1期生は3年目へ2期生も2年目となり、このメ ンバーでダンスをできる時間も徐々に少なくなってきます。 残りの時間をきちんと大事にしながら、今年春にある新入生 歓迎公演やその先にある「茜陵祭」に向けて頑張っていこう と考えています。

顧問は赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の高橋泰学部 長です。高橋先生自身もダンスをされているので、寛大な理 解をいただけており、とても活動がしやすいです。

少しでもダンスしたことがある・ダンスに興味がある、そ んな方がいたら是非参加をお待ちしてます。

> 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科 2年 石川洋行

第4回公演の様子







講堂を使用した初めての学生活動となった本公演には、学生 だけでなく教職員も駆けつけ、約100人が練習に練習を重ねた全

力のダンスを一緒に楽しんでくれました。来年度は予定通り大学 祭での公演ができるよう、メンバー全員で祈りたいと思います。

広報誌 IUHW 120 号 発行:学校法人 国際医療福祉大学

〔大田原キャンパス〕

栃木県大田原市北金丸2600-1 ☎0287-24-3000 [成田キャンパス]

千葉県成田市公津の杜4-3 ☎0476-20-7701 「東京赤坂キャンパス〕

東京都港区赤坂4-1-26 203-5574-3900 「小田原キャンパス〕 神奈川県小田原市城山1-2-25 (本校舎) ☎ 0465-21-6500 [福岡キャンパス]

福岡県福岡市早良区百道浜1-7-4 (1号館) 2092-407-0805 [大川キャンパス] 福岡県大川市榎津137-1 20944-89-2000

編集:広報部 203-5574-3828 デザイン:野佐デザイン



ホームページでもご覧いただけます https://www.iuhw.ac.jp/

©国際医療福祉大学2020 Printed in Japan 禁無断転載・複写